

# 令和3年度 第6回政策推進会議報告

日 時 8月5日 9時30分～10時20分

場 所 WEB会議室

出席者 18人

## 1 令和3年度普通交付税及び臨時財政対策債の概要について

資産統括局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

・(市長)本市の予算規模で交付税の額を正確に見込むのは難しいが、上方修正されるのは朗報である。とはいえ説明のあったように、これが緩みには繋がらないよう受け止めていきたい。また、国勢調査において人口増となったことが反映されたことについても、次回5年後にどのような結果になるかはわからないが、ひとまず良かったと考えている。これまでファミリー世帯を中心に定住転入促進を行ってきたが、こういった安定した市政運営に繋がっていくという側面もあるので、コロナ禍ではあるが、引き続き総合的な取組を進めていきたい。

## 2 その他

○総合政策局長から令和3年度市民提案制度の募集結果について説明。(以下、質疑等)

・(市長)協働推進会議という形で、こういった取組を情報共有する機会を政策推進会議とは別に設けていきたいと思っている。やはり行政だけでは解決できないことの方が多くなっていく時代でもあるので、調整会議などの枠組みを使いながら各局の調整も進め、積極的な取組に繋がるよう、よろしく願いしたい。

○総合政策局長から人権文化いきづくまちづくり計画及びじんけんまなぶ本の周知について説明。(以下、質疑等)

・(市長)研修も予定されているので積極的な参加をお願いしたい。漠然とした概念ではなく、人類が長い歴史をかけて獲得してきた人権というものを社会的なツールとして使いこなしていく、幸福度の高い社会のためにしっかり活用していく力を私たちが持たないといけない。これまでも実施してきた啓発学習プログラムの充実を図っていききたいというのが一つ、学ぶだけではなくそれを具体的に担保する仕組みや制度の充実も非常に重要であるため、それについては私たち行政職員が非常に重要な責務を背負っているという自覚を持ち、この計画策定を機に改めて取組を強化していきたい。

○人事管理部長から障害者活躍推進計画の進捗状況等について説明。(以下、質疑等)

・(市長)まずハートフルオフィス up×3に対して、各局が取組の趣旨を理解して様々な業務を出していることは大変良いことだと思う。今後はスタッフの特性に応じて「こんなタイプの仕事があったら向いていると思う」といったインタラクティブなやりとりも進めていくなど、引き続き各局が協力できれば、より充実を図っていきけるのではないかなと思う。最初の指標については、合理的配慮を知らない職員が一定数いるという結果で、これはどんな部署に配属されているかに関わらず、行政職員として最低限知っておくべき知識だと思うので、この結果を一つの契機として改善できるようご協力をお願いしたい。また、現実に合理的配慮がどの程度職場

で実現できているかという点については、まだやはり全職員の平均と障害がある人の結果に乖離がある。両者の満足度自体を上げていくことも大事だが、このギャップをしっかりと受け止めて取り組んでいかないといけない。総務局においてはギャップの原因になっている具体的な事例をヒアリングするなど、改善に向けた取組をお願いしたい。

○経済環境局長から尼子騒兵衛展の楽しみ方 MAP について説明。(以下、質疑等)

・(総合政策局長) 尼子騒兵衛展については7月17日から9月26日までの62日間の予定で開催をしており、昨日8月4日までの16日間の来場者が約1,400人となっている。1日の平均は約90人で、平日の平均が約50人、土日祝の平均が約130人となっている。これまでの実績からすると、目標の来場者数5,000人を達成できる見込みだが、8月2日以降のまん延防止措置の影響がどこまで及ぶかは現時点で不明である。また、A-Lab で実施している乱太郎とグッズの世界その式についても、尼子騒兵衛展と同期間で実施しているが、昨日8月4日までの来場者が約450人で、尼子騒兵衛展の3割程度に留まっている。尼子騒兵衛展を含めた他施設との周遊がうまくいってないと認識しており、会場でのより一層のPRなど工夫を凝らしたい。また、尼子騒兵衛展ではグッズ販売も実施しているが、8月2日現在で約250万円の売り上げとなっている。改めて、ご来場いただくようよろしくお願いいたします。

・(公営企業局管理者) デザインマンホールについては尼子騒兵衛展でも展示しており、近松公園の南東に、7月16日にマンホールを実際に設置している。7月24日の神戸新聞にも掲載され、本市からもFacebook、twitter、LINEで発信しており、twitterのリアクションではリツイートが900件、いいねを1,500件ぐらいいただいている。近松公園に行かれたときには、久々知兵助のマンホールを見ていただくよう、よろしくお願いいたします。

・(教育委員会事務局次長) 歴史博物館への来館者は、尼子騒兵衛展が始まった7月17日から7月31日までの総数で1,879人、1日平均145人という実績である。尼子騒兵衛展開催までの令和3年度の1日当たりの来館者数は129人で、尼子騒兵衛展が始まってから約1割の増となっている。歴史博物館でも企画展を実施しているので、どこからどこまでが尼子騒兵衛展との相乗効果なのか、はっきりとした分析ができないが、歴史博物館の職員に聞くと、来館者の中には尼子騒兵衛氏のファンと思われるような方も見受けられるので、尼子騒兵衛展に行かれた後に寄っている方もおられると思っている。尼子騒兵衛展が8月後半に展示替えをすると聞いており、後期の展示においては、歴史博物館所蔵の資料で明治期の絵画を貸し出して一緒に展示いただく予定となっている。その絵画については歴史博物館でクリアファイルを作っており、販売もしているので、尼子騒兵衛展にお立ち寄りの後にはぜひ歴史博物館にもお越しいただきたい。

・(市長) ご承知の通り、忍たまのキャラクターたちの名前が尼崎の地名に用いられているが、歴史博物館所蔵の古文書などでも尼崎の地名が見受けられるものを積極的に展示していただいている。また、伊丹や西宮、神戸との広域の謎解き企画も実施されていて、歴史博物館がスタート地点になっており、私が行ったときには謎解きの参加者の方も来られていた。まん延防止措置が出てしまったのでなかなか参加がしづらい状況になってしまったが、着実に様々な方々に足を運んでいただいていると思う。皆様もまだの方はぜひお立ち寄りいただきたい。

○総合政策局長から指定管理者制度モニタリング評価結果（最終評価）の公表について説明。（以下、質疑等）

・（総合政策局長）資料はないが、指定管理者制度のモニタリング評価について、令和2年度実施分の最終評価を本日市のホームページで公表する予定にしている。新たな評価手法となって初めての評価結果公表であり、各局には例年よりもお手間をおかけしたと思っている。庁内からは「指定管理者との目標の共有が進んだ」といった、パートナーシップ強化が図られた旨の声もいただいているが、一方では事務負担の増といったご意見もいただいているところである。現在新たな評価に関する分析を行っており、今後の制度改善あるいはモニタリング評価様式の更なる見直しに向けた検討を進めているところで、各局で議論する場の機会も設けていきたいと思っているのでよろしくお願いいたします。

・（市長）まだスタートしたばかりということで、これからいい意味で改善していきたいと思っている。このあと環境保全会議もあるが、やはり指定管理者との関係において法令違反が発生していないかとか、環境基準等々のチェックが不十分になってないか、これまでも防災の観点からちゃんと取り決めができているかとかいろんな観点の見直しをやってきたが、やはり今一度、指定管理者との関係においてミニマムな部分をしっかり押さえていかないといけない、管理をお願いしている市サイドも意識を高めないといけないと感じている。監査事務局からもかなりご指摘をいただいているので、改めてミニマムな部分をしっかりやっていくことと、そもそも民間の力をもっと活かしていく趣旨の制度なので、パートナーシップがきちりと発揮されているかといった様々な観点からの評価を、極力作業が重たくなならないように実施していきたいので、引き続き積極的なご意見をいただき、より良いモニタリング制度になるよう、そしてその成果が市政の向上に繋がるようご協力をお願いしたい。

・（市長）ご承知の通りコロナの第5波が非常にすごい勢いとなっている。重傷者が第4波までに比べると少なめとはいえ、分母がこれだけ広がるとやはり病床が逼迫しつつあるという情報が飛び交っている。市としてもまた応援体制や、様々な取組をやっていかないといけないと思う。軽症者向けのホテルを拡充できればという問題意識を保健所からは聞いているが、協力していただけそうな市内のホテルはありそうか。

・（経済環境局長）打診できそうなホテルを保健部と調整しており、まだ具体的なアクションを起こしていないが、意欲のあるホテルはありそうである。常連客の宿泊を断れないというホテル側の事情もふまえ、どのように連携できるか、引き続き進めていく。

・（市長）これまでホテルの手配は県が進めてこられた側面もあり、県と一緒に進めた方が早ければその方がよいと思うので、必要があれば私から県に連絡するなど、各所と十分に連携を取りながらスピード感を持って取り組んでいきたい。観光面にはやや影響が出る可能性があるかもしれないが、その都度しっかり情報共有しながら進めていきたい。

・（医務監）昨日から64歳以下の方のワクチン接種がつかしんと総合文化センター、それから小田南生涯学習プラザで始まった。接種予定者の99%ぐらいの方が受けてくださり、非常に

順調に進んでいる。昨日は感染者数が90人で、第4波の一番多いときでも70人ぐらいであったが、もう100人を超えてきそうな状況になっている。

・(市長) 皆様の周りでも濃厚接触者になったので自宅待機といったケースなどが増えてくると思う。業務上のBCPを意識し、「この人が急に来られなくなったら誰もわからない」といったことにならないよう、改めて危機意識を高め、業務の安定的な遂行に配慮いただきたい。やはりデルタ株の感染力は極めて強く、家族内感染はなかなか免れることが難しく、一定数の影響が出ることも避けられないかと受けとめている。もちろん感染予防にしっかり取り組んでいただくのは当然のこととして、業務上の安定性についても感度を上げていきたいと思うので、よろしく願います。

以 上